

「介護老人保健施設における感染症に関する状況調査」 (2023年4月～2024年3月)の概要報告

全老健学術委員会では、1996年度より継続的にインフルエンザの発生等に関する実態調査を実施してきました。今般の新型コロナウイルス感染症(COVID-19)(以下、新型コロナ)の流行を踏まえ、2020年10月より調査内容を見直し、「介護老人保健施設における感染症に関する状況調査」として、インフルエンザ、新型コロナ、ノロウイルス感染症(以下、ノロウイルス)を対象とした発症状況調査を、半年ごとに実施しております。

このほど2023年4月～9月ならびに2023年10月～2024年3月の、2調査の結果がまとまりましたのでご報告致します。ご多忙のなか、調査にご協力いただき貴重な情報をご提供下さいました会員施設の皆様に深く御礼申し上げます。

なお、この調査は通年調査として継続実施しておりますので、今後ともご協力を賜りますようお願い申し上げます。

【調査概要】

■ 2023年度の上半期を対象とした調査：2023年4月17日付 全老健第5-10号

調査対象： 3,557施設(2023年4月現在の正会員施設)
調査対象期間： 2023年4月1日～2023年9月30日
回収数： 938件
回収率： 26.4%

■ 2023年度の下半期を対象とした調査：2023年10月16日付 全老健第5-174号

調査対象： 3,560施設(2023年10月現在の正会員施設)
調査対象期間： 2023年10月1日～2024年3月31日
回収数： 959件
回収率： 27.0%

I. インフルエンザ、新型コロナ、ノロウイルスの発生状況について

2023年4月～2024年3月の発生状況(図表1)をみると、

- インフルエンザの発症者数は、2023年7月から「職員」の発症者数が増え始め、2023年10月からは「入所者」と「通所者」の発症者数が増え始め、2024年3月まで発症者数の多い状態が続いた。なお、昨シーズン(2022年12月～2023年3月)の「職員」の発症率が0.059%～0.277%であったのに対し、今シーズン(2023年12月～2024年3月)の「職員」の発症率は0.320%～1.369%であった。
- 新型コロナについては、「入所者」、「通所者」、「職員」のいずれにおいても、今回は、2023年8月と2024年1～2月をピークとして、発症者数が非常に多い時期が2回出現した。
- ノロウイルスについては、「入所者」と「職員」において、2023年11月から翌年3月に発症がみられた。なお、昨シーズン(2022年12月～2023年3月)の「入所者」の発症率が0.006%～0.026%であったのに対し、今シーズン(2023年12月～2024年3月)の「入所者」の発症率は0.012%～0.200%であった。

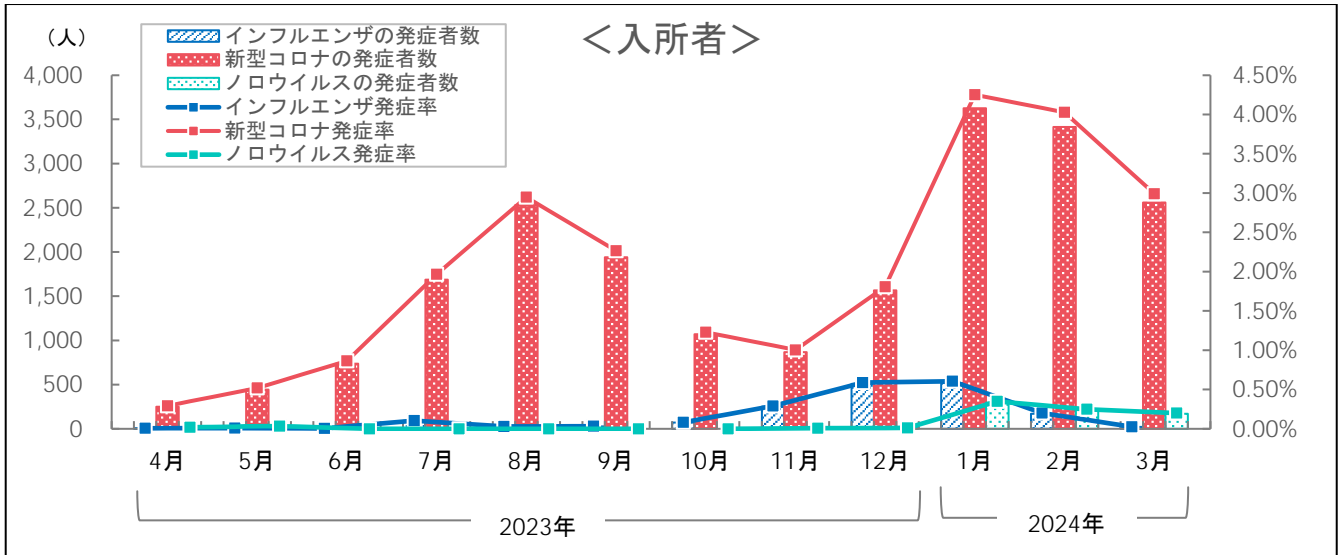
図表 1: 「介護老人保健施設における感染症に関する状況調査」 2023 年 4 月～2024 年 3 月分 発症者数・発症率

※ 2023 年 4 月～9 月(上半期)と、2023 年 10 月～2024 年 3 月(下半期)の 2 調査の結果を並べたものであり、同一施設から提出された一年分のデータを集計した結果ではないことに注意が必要である。

		N=938施設						N=959施設					
		2023年 4月	2023年 5月	2023年 6月	2023年 7月	2023年 8月	2023年 9月	2023年 10月	2023年 11月	2023年 12月	2024年 1月	2024年 2月	2024年 3月
入 所 利 用 者	入所者数	85,376	85,289	85,273	85,818	85,856	85,620	86,987	86,379	86,615	85,261	84,772	85,588
	インフルエンザの発症者数	6	7	4	90	26	28	71	251	509	517	170	22
	インフルエンザ発症率	0.007%	0.008%	0.005%	0.105%	0.030%	0.033%	0.082%	0.291%	0.588%	0.606%	0.201%	0.026%
	新型コロナの発症者数	250	443	737	1,687	2,530	1,940	1,069	867	1,565	3,625	3,413	2,560
	新型コロナ発症率	0.293%	0.519%	0.864%	1.966%	2.947%	2.266%	1.229%	1.004%	1.807%	4.252%	4.026%	2.991%
	ノロウイルスの発症者数	17	29	0	0	0	0	0	7	10	297	211	171
	ノロウイルス発症率	0.020%	0.034%	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	0.008%	0.012%	0.348%	0.249%	0.200%
通 所 利 用 者	通所者数	64,708	65,161	65,430	65,380	64,668	64,985	69,884	70,141	70,053	68,577	68,465	68,788
	インフルエンザの発症者数	5	5	10	10	24	9	51	77	128	139	75	26
	インフルエンザ発症率	0.008%	0.008%	0.015%	0.015%	0.037%	0.014%	0.073%	0.110%	0.183%	0.203%	0.110%	0.038%
	新型コロナの発症者数	82	178	310	621	1,210	852	326	165	320	827	893	678
	新型コロナ発症率	0.127%	0.273%	0.474%	0.950%	1.871%	1.311%	0.466%	0.235%	0.457%	1.206%	1.304%	0.986%
	ノロウイルスの発症者数	0	0	0	0	0	0	0	1	2	16	6	10
	ノロウイルス発症率	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	0.001%	0.003%	0.023%	0.009%	0.015%
職 員	職員数	69,788	69,908	69,941	69,839	69,719	69,725	72,762	72,713	72,763	72,606	72,611	72,390
	(常勤)	53,077	53,170	53,147	53,064	52,986	52,911	54,879	54,776	54,802	54,668	54,625	54,432
	(非常勤)	16,711	16,738	16,794	16,775	16,733	16,814	17,883	17,937	17,961	17,938	17,986	17,958
	インフルエンザの発症者数	44	35	22	63	58	157	440	725	996	762	371	232
	インフルエンザ発症率	0.063%	0.050%	0.031%	0.090%	0.083%	0.225%	0.605%	0.997%	1.369%	1.050%	0.511%	0.320%
	新型コロナの発症者数	191	526	765	1,890	2,986	2,016	796	643	1,041	2,837	2,590	1,706
	新型コロナ発症率	0.274%	0.752%	1.094%	2.706%	4.283%	2.891%	1.094%	0.884%	1.431%	3.907%	3.567%	2.357%
	ノロウイルスの発症者数	2	10	3	9	1	8	0	8	10	76	74	58
	ノロウイルス発症率	0.003%	0.014%	0.004%	0.013%	0.001%	0.011%	0.000%	0.011%	0.014%	0.105%	0.102%	0.080%

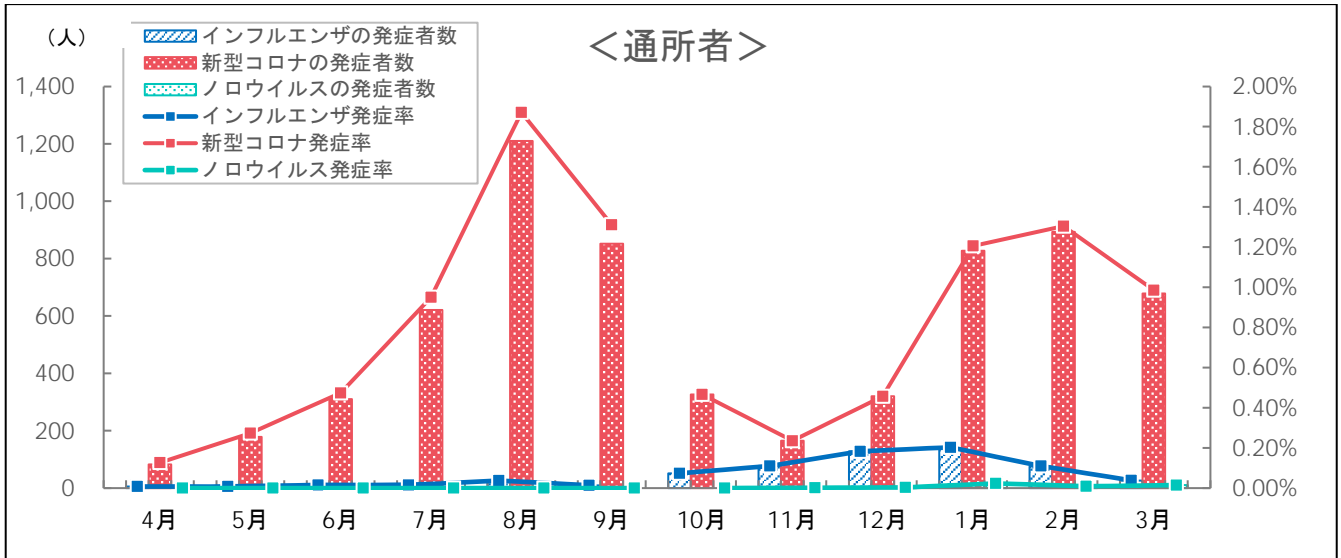
図表 2: 入所者における各感染症の発生状況

2023年4月～2024年3月調査(発症者数・発症率)



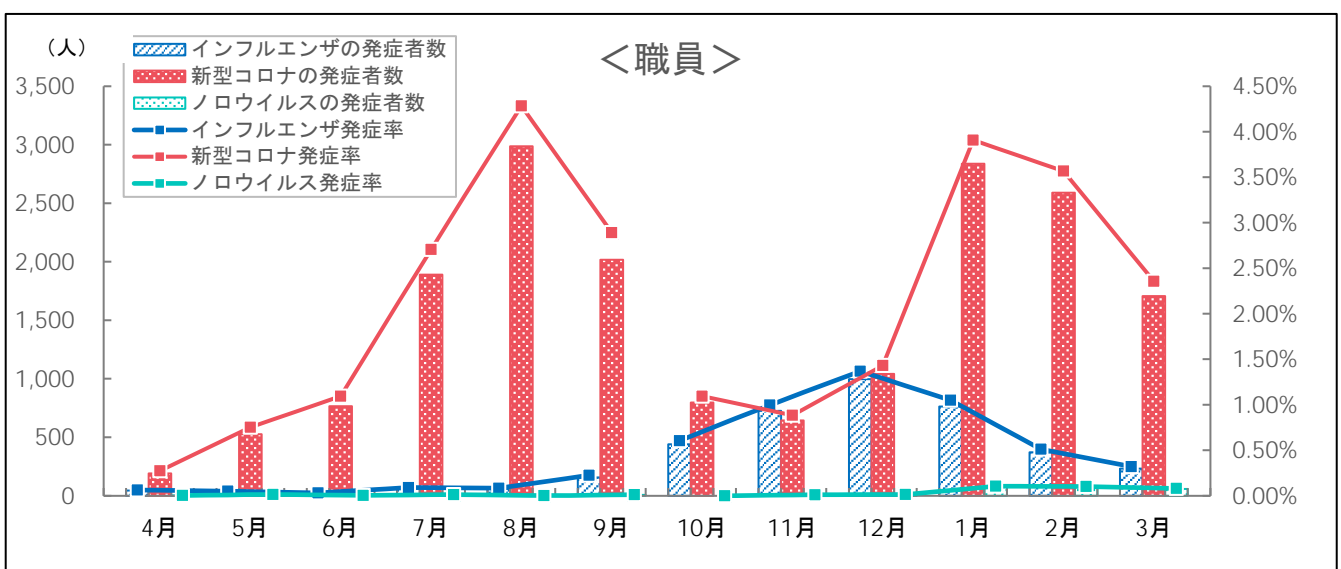
図表 3: 通所者における各感染症の発生状況

2023年4月～2024年3月調査(発症者数・発症率)



図表 4: 職員における各感染症の発生状況

2023年4月～2024年3月調査(発症者数・発症率)

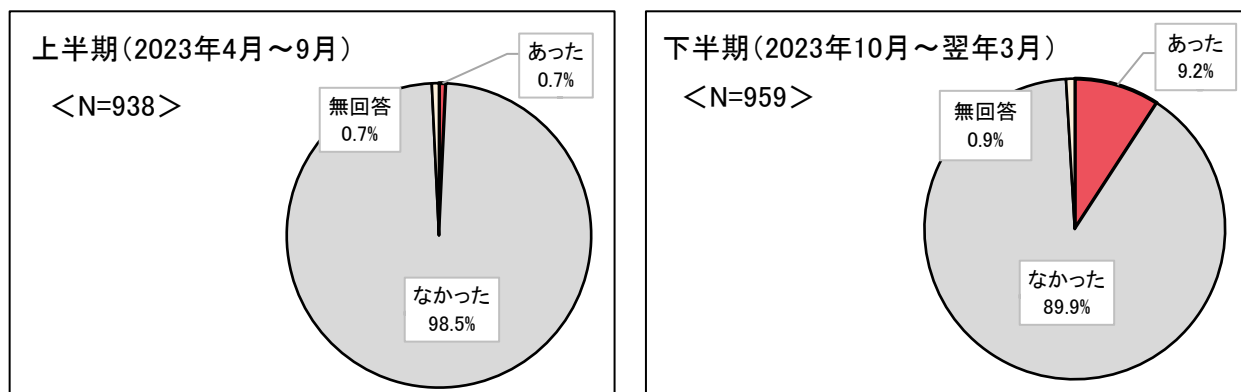


Ⅱ. インフルエンザ、新型コロナ、ノロウイルスの施設内クラスターの発生状況について

調査対象期間にクラスター(同時期に5名以上発症)があったかについて、上半期(2023年4月～9月)、下半期(2023年10月～2024年3月)の結果は図表5～7のとおり。

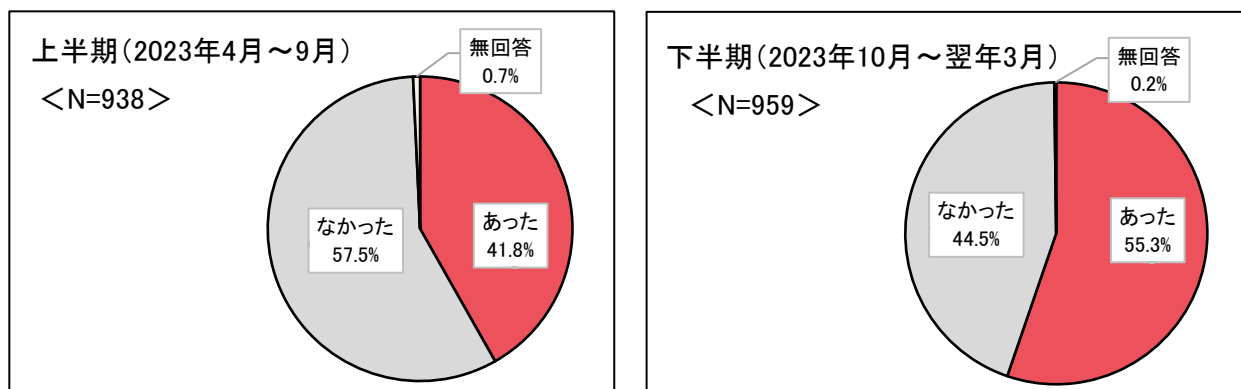
図表 5: インフルエンザの施設内クラスターの発生状況

- インフルエンザによるクラスターがあったと回答した施設は、上半期 0.7%、下半期 9.2%であった。



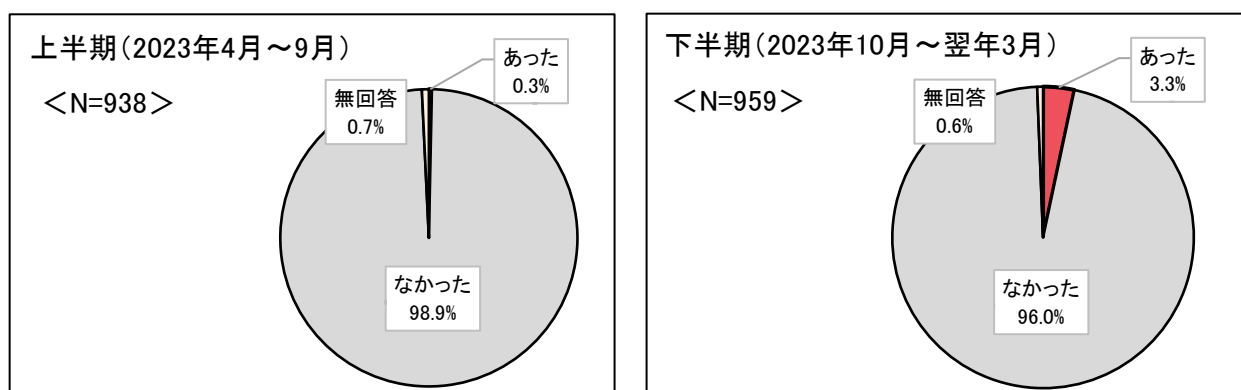
図表 6: 新型コロナの施設内クラスターの発生状況

- 新型コロナについては、上半期 41.8%、下半期 55.3%の施設が、クラスターがあったと回答した。



図表 7: ノロウイルスの施設内クラスターの発生状況

- ノロウイルスによるクラスターがあったと回答した施設は、上半期 0.3%、下半期 3.3%であった。



Ⅲ. 2022年4月～2024年3月の2年間における、インフルエンザ、新型コロナ、ノロウイルスの発生状況について

インフルエンザ、新型コロナ、ノロウイルスの発生状況を俯瞰する目的で、これまでに実施した調査結果と今回の調査結果を連結したものが、次頁の図表8である。

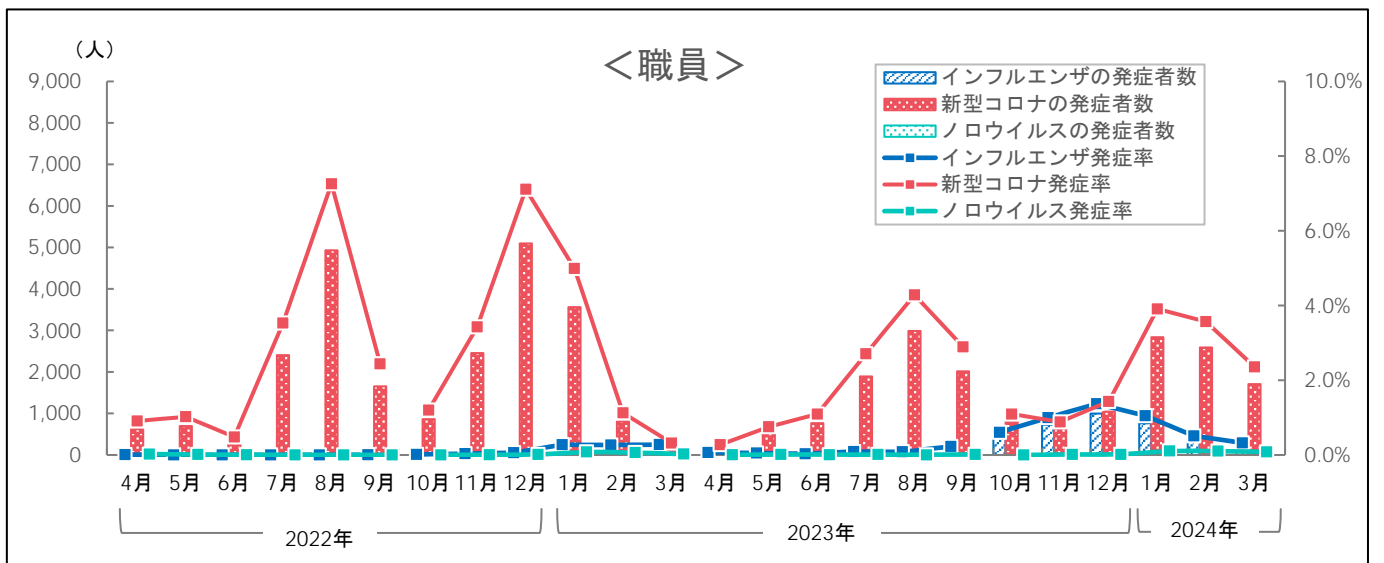
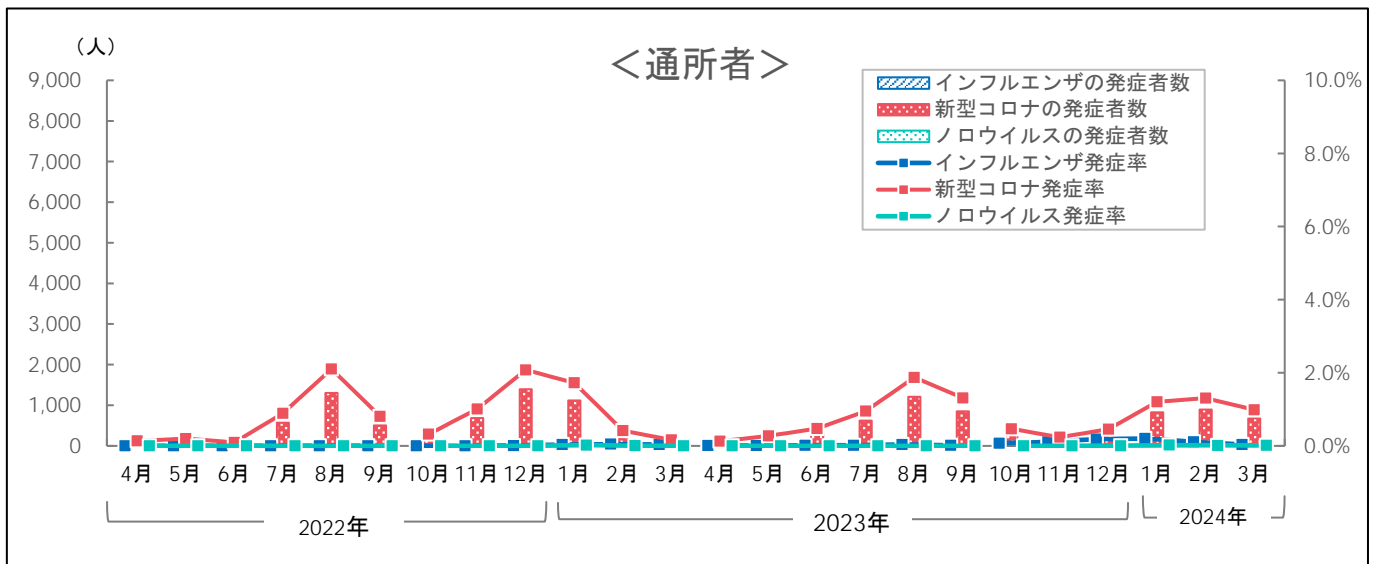
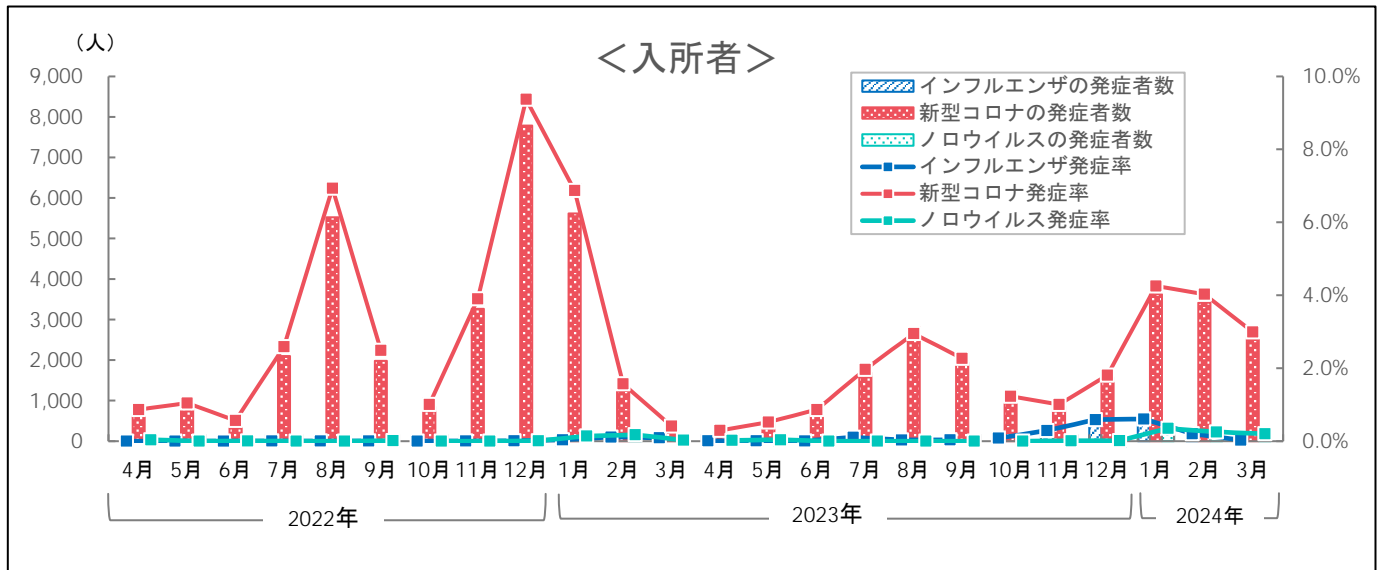
また、図表9はインフルエンザ、ノロウイルスの2感染症の発生状況を再掲している。

<図表8～9の調査対象期間>

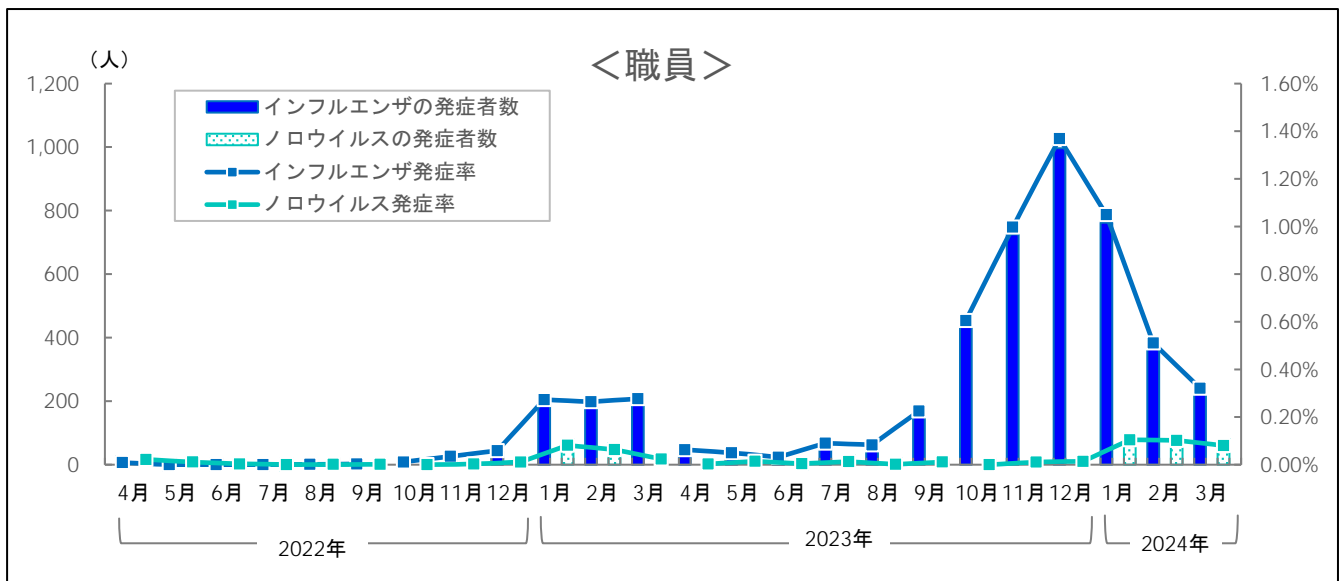
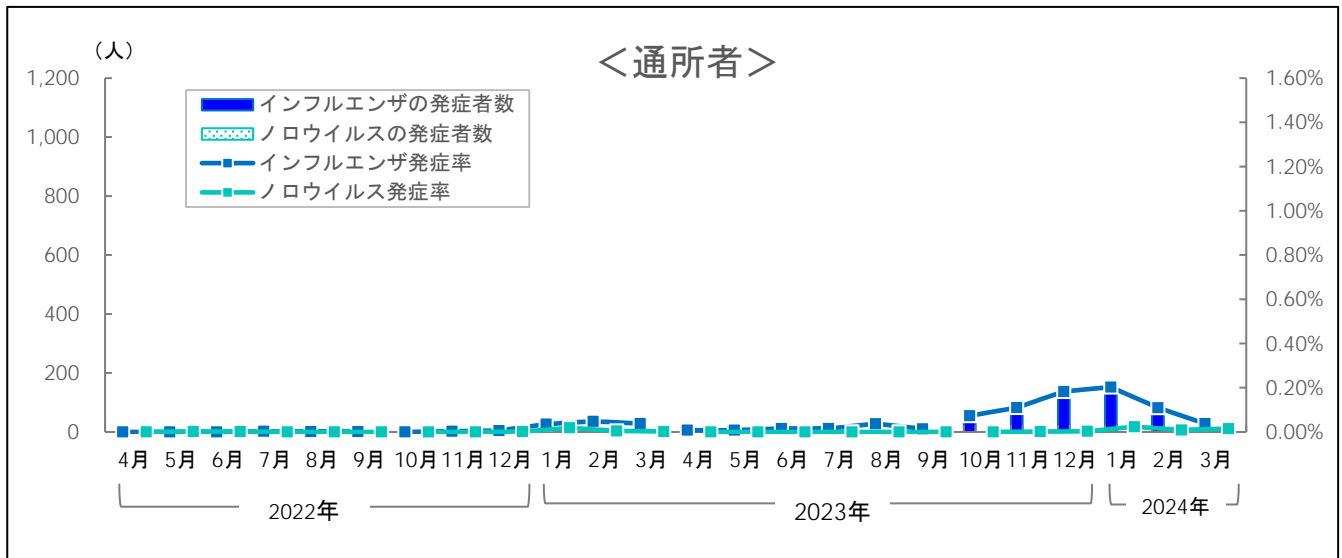
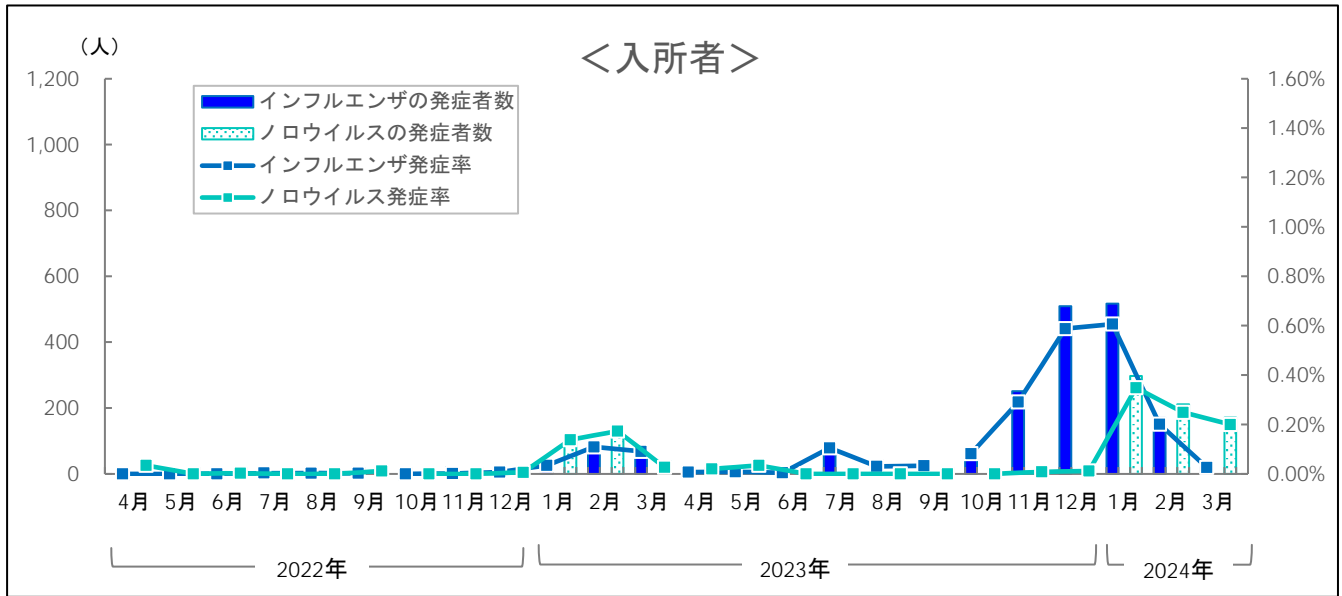
- | | | | |
|---|------------------|---------|-------------|
| ① | 2022年4月～2022年9月 | (N=871) | |
| ② | 2022年10月～2023年3月 | (N=939) | |
| ③ | 2023年4月～2023年9月 | (N=938) | } ③、④は今回報告分 |
| ④ | 2023年10月～2024年3月 | (N=959) | |

なお、図表8～9は上記①～④の4調査の結果を便宜的に連結したものであり、同一施設からの2022年4月～2024年3月のデータを基に作成したグラフではないことに注意が必要である。

図表 8: 2022年4月～2024年3月の2年間に於ける、インフルエンザ、新型コロナ、ノロウイルスの発生状況



図表 9: 2022年4月～2024年3月の2年間における、インフルエンザ、ノロウイルスの発生状況(再掲)



IV. まとめ

今回の報告は、2023年4月以降の新型コロナ、インフルエンザ及びノロウイルス感染症の発生状況をまとめたものである。

施設におけるクラスター発生状況を見ると、新型コロナについては上半期41.8%、下半期55.3%と半数近くの施設でクラスターが発生していた。

インフルエンザは、2020年10月以降2シーズンにわたり、著しく発生が少ない状態が続いてきたが、昨シーズン(2022年12月～2023年3月)には増加傾向がみられた。今回の調査では2023年7月から「職員」の発症者数が、2023年10月からは「入所者」、「通所者」の発症者数の増加傾向が顕著であり、下半期には9.2%の施設でクラスターが発生していた。

一方、ノロウイルスは他の2つの感染症とは若干異なり、毎冬、一定数の発生が報告されている。過去調査と比較すると、2021年10月～2022年3月調査では0.7%、2022年10月～2023年3月調査では1.5%の施設でクラスターが発生と報告しているが、今回の下半期(2023年10月～2024年3月)は3.3%の施設でクラスターが発生しており、過去2シーズンより多かった。

今回の調査では、インフルエンザ、ノロウイルスについて、過去2年間とくらべても更に発生が増える傾向が確認された。今後は、調査対象の3感染症のほかにも、RSウイルスなどについても注視し、感染症対策をすすめていく必要がある。